

2016年12月7日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第51号

セントロ地区で抗議デモが開催（続報）

12月6日（火）午前から午後にかけて、州議会議事堂（通称チラデンテス宮殿）前において、州政府職員の賃金等に関する法案の改訂に反対する大規模な抗議デモが実施されました。

リオ州軍警察によれば、約30人が負傷（うち11人が警察官）し、立法議会への侵入を試みた抗議参加者等9人が現行犯で逮捕されました。

抗議デモを通じて、一部の過激なデモ参加者が火炎瓶の投擲を行い、これに対して軍警察がゴム弾や催涙弾等で押収したため、現場周辺には大きな混乱が生じました。

特に大規模な交通渋滞が発生し、周辺の道路交通が麻痺したほか、現場付近の地下鉄駅（ウルグアイ駅）とでは人で溢れ、電車に乗れない人も多く見受けられました。

リオ州公安局では、リオ州の治安情勢第48号でもお伝えしたとおり、議会での審議が終了するであろう15日頃まで、同様のデモが発生する可能性があるとして、国家治安部隊の応援を得ながら警戒を強化する方針です。

当面の間は、セントロ方面への不要不急な外出は避けるとともに、抗議活動に遭遇した場合には、以下の点に注意してください。

- (1) 抗議活動に遭遇したら、事態が沈静化するまで安全な屋内に避難する。
- (2) デモが始まりそうな予兆を感じたら、直ぐにその場を離れる。
- (3) 抗議活動の後半時間帯が特に危険。

過去に行われた抗議活動では、平和的に行われていたものが、解散間際になって（一部過激なグループに扇動され）破壊行為に発展する事案が多く見られます。抗議が終息しそうだからといって、安易に現場に近づかないようにしましょう。